

奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

- ① 化学療法分科会
- ② 緩和ケア分科会
- ③ 相談支援分科会
- ④ 院内がん登録分科会
- ⑤ 地域連携分科会
- ⑥ 放射線療法分科会

令和3年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

化学療法分科会

分科会開催日	<p>令和4年3月31日（Webカンファレンス同時開催予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> • webカンファレンス開催実績報告 • 研修会の開催方法について • がんゲノム医療連携病院指定状況について
令和3年度 実績	<p>1. がん薬物療法セミナーの開催</p> <p>※拠点病院としての事業 がんプロフェッショナル養成プランとしての事業</p> <p>○がん薬物療法セミナーの開催</p> <p>第1回 2021年6月25日（金）17:00～18:00</p> <ul style="list-style-type: none"> • がんゲノム医療コーディネーターの役割 看護部 がん専門看護師 がんゲノム医療コーディネーター 梅岡 京子 • 遺伝子パネル検査の最新の話 がんゲノム・腫瘍内科学 教授 武田 真幸 <p>第2回 2021年8月3日（火）17:00～18:00</p> <ul style="list-style-type: none"> • がんパネル検査のための適切な病理組織検体の取り扱い 病理診断学 准教授 藤井 智美 <p>第3回 2021年12月15日（水）18:00～18:50</p> <ul style="list-style-type: none"> • がん・生殖医療とその日本国内の動き 産婦人科学 教授 木村 文則 <p>第4回 2022年3月30日（水）18:00～18:45</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多職種で行う副作用マネジメント 血管外漏出を中心に がんゲノム・腫瘍内科学 学内講師 吉井 由美

	<p><u>2. 多地点 web カンファレンスの実施</u> 各医療機関における実際の症例を基に、症例検討を行った。 内容によっては関係診療科の医師が参加し、内容の充実化を図った（計 4 回・次ページ参照）</p> <p><u>3. 化学療法医療チーム研修会の開催</u> 令和 4 年 3 月 5 日実施 3 病院 14 名参加（天理よろづ、県総合、近大奈良）</p>
<p>来年度の予定</p>	<p><u>1. がん薬物療法セミナーの開催</u></p> <p><u>2. 定期的に多地点 web カンファレンスを開催</u> 関係部門の医師、薬剤師、看護師など多職種の参加を促し、さらなる内容の充実化を図る。</p> <p><u>3. 化学療法医療チーム研修会の開催</u> 県内のレベルアップを目標に、チーム研修会を開催予定（オンライン開催を検討）。</p>
<p>その他</p>	<p>分科会の委員を中心に行っている自主研究グループ「奈良がん医療研究会（まほろば塾）」を年 2 回、継続して開催する予定である。</p>

化学療法分科会実績

令和3年度 化学療法 web カンファレンス

第1回	6月24日(木)	「心臓原発悪性腫瘍の1例」 【奈良県総合医療センター 小林真也 先生】	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良医大附属病院 ・近大奈良病院 ・市立奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・大和高田市立病院
第2回	10月28日(木)	胆道癌化学療法中の遺伝子パネル検査で 治療方針再考を要した症例 【近畿大学奈良病院 文田 壮一 先生】	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良医大附属病院 ・近大奈良病院 ・市立奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・大和高田市立病院
第3回	1月13日(木)	ターミナルケア・看取りについて ～血液内科医の立場から～ 【天理よろづ相談所病院 丸山 亙 先生】	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良医大附属病院 ・近大奈良病院 ・市立奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・大和高田市立病院
第4回	3月31日(木)	内容作成中 【市立奈良病院 小山 拓史 先生】	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良医大附属病院 ・近大奈良病院 ・市立奈良病院 ・天理よろづ相談所病院 ・南奈良総合医療センター ・大和高田市立病院

令和3年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

緩和ケア分科会

分科会開催日	3/4（金）～11（金） アンケート実施																																	
令和3年度 実績	<p>① まほろば PEACE 緩和ケア研修会 計5回 （県内拠点病院、地域がん診療病院、支援病院で開催）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催医療機関</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">奈良県立医科大学附属病院</td> <td>6月27日</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>8月1日</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>10月3日</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>1月30日</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>奈良県総合医療センター</td> <td>8月29日</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>市立奈良病院</td> <td>7月18日</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>近畿大学奈良病院</td> <td>8月1日</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>天理よろづ相談所病院</td> <td>9月12日</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>南奈良総合医療センター</td> <td>11月20日</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>国保中央病院</td> <td>10月31日</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table>	開催医療機関	開催日	参加者数	奈良県立医科大学附属病院	6月27日	14	8月1日	19	10月3日	19	1月30日	中止	奈良県総合医療センター	8月29日	33	市立奈良病院	7月18日	22	近畿大学奈良病院	8月1日	17	天理よろづ相談所病院	9月12日	21	南奈良総合医療センター	11月20日	13	国保中央病院	10月31日	13		合計	171
	開催医療機関	開催日	参加者数																															
	奈良県立医科大学附属病院	6月27日	14																															
		8月1日	19																															
		10月3日	19																															
		1月30日	中止																															
	奈良県総合医療センター	8月29日	33																															
	市立奈良病院	7月18日	22																															
	近畿大学奈良病院	8月1日	17																															
	天理よろづ相談所病院	9月12日	21																															
	南奈良総合医療センター	11月20日	13																															
	国保中央病院	10月31日	13																															
		合計	171																															
<p>② 看護師に対する研修会（ELNEC-J）の開催 主 催：奈良県立医科大学附属病院 方 法：Web 開催（ファシリテーターは会場、受講生は Web 参加） 内 容：エンド・オブ・ライフ・ケア（EOL ケア）や緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力修得のための系統的な教育プログラム 開催日：12月11日（土）、12日（日） 参加者：県内でがん診療に携わる看護師 15名</p>																																		
<p>③ がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会（病診連携）の開催</p>																																		
<p>④ 緩和ケア普及啓発（県民公開講座等）の実施</p>																																		
<p>⑤ 緩和ケアチーム研修会の開催</p>																																		
<p>※③～⑤の取組は次ページ参照。</p>																																		
来年度の予定	<p>①まほろば PEACE 緩和ケア研修会の開催 ②緩和ケアに関する研修会や普及啓発活動の実施、開催方法の検討</p>																																	

令和3年度 奈良県がん診療連携協議会（緩和ケア分科会） 取組報告

◆在宅緩和ケア地域連携事業「がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会」【原則必須】

医療機関名	内容
奈良医大	2021/11/20（在宅緩和ケア地域連携研修会） 参加者：90名
奈総医セ	2021/10/28 参加者：25名
市立奈良	2022/2/10 参加者：35名
近大奈良	2022/2/24（第9回がん地域連携ケースカンファレンス） 参加者：32名
天理よろづ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（2/16に予定していた）
南奈良	2022/2/3 参加者：19名

◆緩和ケアの情報提供・普及啓発（県民公開講座等）【必須要件】

指針Ⅱ4（3）③/Ⅶ4（3）③：地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めること。

医療機関名	事業内容
奈良医大	2022/2/27（緩和ケア普及啓発事業県民公開講座、受講者：24名）
奈総医セ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
市立奈良	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
近大奈良	2021/4/1（第36回生駒緩和医療研究会、受講者：73名） 2021/10/14（第37回生駒緩和医療研究会、受講者：66名）
天理よろづ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
南奈良	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

◆当該都道府県においてがん診療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等に対する研修の実施について（必須要件）【奈良医大のみ】

医療機関名	事業内容
奈良医大	2022/2/13（奈良県緩和ケアチーム研修会、受講者：17名）

令和 3 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

相談支援分科会

分科会 開催日	<p>令和 3 年年 8 月 31 日 (火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 3 年度のがん相談支援センター活動計画 ・ 令和 2 年度がん相談支援センター利用状況調査結果報告 ・ 令和 3 年度奈良県相談員研修会の開催について 等 <p>令和 4 年 3 月 15 日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 17 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会の報告 ・ 令和 3 年度がん相談支援センター活動報告、次年度活動計画 ・ 令和 3 年度奈良県がん相談支援従事者研修会報告 等
令和 3 年度 実績	<p>1. 治療と仕事両立支援継続と体制整備</p> <p>①社会保険労務士による就労相談の実施 4 医療機関で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奈良県立医科大学附属病院 11 回実施、利用者 15 名 ・ 市立奈良病院 2 回実施 ・ 奈良県総合医療センター3 回実施、利用者 1 名 ・ 天理よろづ相談所病院 5 回実施 <p>②産業保険総合支援センター（両立支援促進員）との連携による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携協定を 3 医療機関で締結 連携事例なし <p>③長期療養者就職支援事業（がん・肝炎・糖尿病の長期療養者）ハローワーク出張相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奈良県立医科大学附属病院（週 1 回）43 回実施・利用者 30 名 ・ 奈良県総合医療センター（6 月から隔週で）21 回・利用者 22 名 <p>④療養・就労両立支援指導料の算定に伴う体制の整備</p> <p>各医療機関で院内周知活動及び患者への情報提供継続 算定実績なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南奈良総合医療センター：両立支援コーディネーター研修 4 名受講 ・ 市立奈良病院：両立支援コーディネーター対象の事例検討会出席 <p>2. 相談の質の保証のための相談員のスキルアップ</p> <p>①令和 3 年度地域がん相談支援フォーラム近畿(主催：京都府・滋賀県)</p> <p>『ゲノム医療における相談支援』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程：令和 3 年 11 月 28 日(日) ・ 県内拠点病院より 8 名受講、奈良県立医科大学附属病院より実行委員で 2 名参加 <p>②令和 3 年度奈良県がん相談支援従事者研修会</p> <p>『がん治療と妊孕性・がんゲノム医療の基礎知識を学ぶ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催方法：オンライン開催(講義動画のオンデマンド配信) ・ 配信期間：令和 4 年 2 月 14 日(月)～2 月 28 日(月) ・ 参加者：県内のがん患者支援に従事している MSW・看護師・保健師・臨床心理士 申込者 55 名、受講証発行対象者：44 名(アンケート提出により受講確認) <p>③国立がん研究センターの相談員研修に参加</p> <p>各医療機関にて指導者研修参加要件となる相談員研修会 1.2、相談対応の質保証を受講指導者研修会は参加要件を満たす相談員の調整が困難であったため不参加</p>

	<p>3. 患者サロン運用充実・患者会や患者団体の活動の支援</p> <p>①リレーフォーライフ奈良など患者会活動実施なく支援なし ②患者サロンの運用充実 各医療機関・保健所のサロン中止 近畿大学奈良病院にてオンラインサロン開催。2月16日開催、3名参加</p> <p>4. AYA世代・小児がん患者・家族支援体制の整備</p> <p>①AYA世代のサロンや患者会の開催を計画したがコロナ禍で実施に至らなかった。 ②妊孕性温存療法研究促進事業開始に伴う取り組み 近畿大学奈良病院にて医療者へのアンケート、勉強会、フローチャートの作成 奈良県立医科大学附属病院にて妊孕性温存療法相談窓口開設に向けて委員会立ち上げ</p> <p>5. 相談支援センターの院内職員への周知と相談機能の強化</p> <p>①院内職員から相談支援センターに紹介される体制の整備 ②適切な相談応ができるよう、院内の関連部門・担当者と協働できる体制の整備 ①②について、各医療機関で関連部門とカンファレンス実施やニュースレター作成、ポスターやリーフレットの設置場所の工夫などを実施。 上記により相談依頼に繋がるケースが増加した医療機関あり。</p>
令和4年度 活動計画	<p>1. 治療と仕事両立支援の継続</p> <p>①社会保険労務士の就労相談の継続実施〔各医療機関で実施〕 ②ハローワーク・産業保険総合支援センターとの連携の継続 ③療養・就労両立支援指導料に関する院内への周知、指導料算定に至った相談事例の病院間での共有</p> <p>2. 県内のがん相談員のスキルアップ</p> <p>①奈良県がん相談員研修会の開催 ②国立がん研究センターの相談員指導者研修参加要件を満たす相談員の育成（相談員基礎研修Ⅲ、相談対応の質保証研修の受講）</p> <p>3. コロナ禍における患者サロン運営、患者会・患者団体との連携方法の検討</p> <p>①ピアサポーター、患者会との連携方法、Web活用について検討 ②患者サロンの運用充実 コロナ禍でのサロン運用のあり方検討 Webやハイブリッド、感染対策強化による対面等での患者サロン開催に向けての課題抽出、解決方法の検討を病院間で情報共有しながら行う。</p> <p>4. AYA世代・小児がん患者・家族支援体制の整備</p> <p>①サロン・交流会の実施 各医療機関で実施 コロナ禍での運用のあり方検討 ②奈良医大に妊孕性温存相談窓口を設置(医療者からの問い合わせに対応) ③病气療養中の高校生への学習支援(他府県の取り組みから学ぶ)</p> <p>5. 相談支援センターの院内職員への周知と相談機能の強化</p> <p>①院内職員から相談支援センターに紹介される体制の整備 国立がん研究センター作成の冊子「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」の活用 ②患者からの相談に対し、適切に対応できるよう、院内の関連部門及び担当者と協働できる体制の整備等</p>

令和3年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

院内がん登録分科会

分科会開催	<p>院内がん登録分科会</p> <p>メールにて開催 令和4年3月15日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告 ・がん登録研修会開催報告・情報提供等 ・奈良県院内がん登録2018-2020年集計報告および2019-2020年症例5大がん等集計報告
令和3年度活動実績	<p>がん登録データの集計および分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県院内がん登録2018-2020年集計・分析(奈良医大) ・2019-2020年症例5大がん等集計・分析(奈良医大) <p>院内がん登録分科会 がん登録研修会</p> <p>「令和3年度 がん登録担当者研修会」</p> <p>共催：奈良県がん対策推進協議会 がん登録部会</p> <p>日時：令和4年1月29日(土)9:00~12:30</p> <p>場所：Web開催</p> <p>受講者：24施設 28名(県内のがん登録担当者等)</p> <p>がん登録のポイントについて説明</p> <p>奈良県立医科大学附属病院 情報推進室 診療情報管理係 喜多 真美</p> <p>第1部 肺がん：肺がんの疫学・診断・病期診断・治療について 講師：奈良県立医科大学附属病院 呼吸器内科 本津 茂人</p> <p>第2部 脳腫瘍：病理組織分類、悪性度と診断から治療までの概要 講師：奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科 長谷川 正俊</p> <p>奈良県からの情報提供(資料提供)</p>
来年度の予定	<p>令和4年度活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度院内がん登録分科会 がん登録研修会開催(年1~2回) ・院内がん登録分科会開催(年1回)

奈良県がん診療連携拠点病院等
院内がん登録2019-2020年症例 5大がん集計報告

出典 国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」

奈良県がん診療連携拠点病院等
院内がん登録2018-2020年集計報告

出典 国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録全国集計」

令和3年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会実績

地域連携分科会

分科会開催日	2022/3/4（金）～11（金） アンケート実施 とりまとめ内容は次ページのとおり
令和3年度 実績	<p>〈実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緩和ケア分科会と共同で、研修会を開催 2021/11/20 14:00～16:00 WEB 在宅緩和ケア地域連携研修会 参加者90名 <p>テーマ 「患者と医療者がともにおこなう疼痛コントロール」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅緩和ケアでの持続皮下投与における 調剤薬局の役割 演者 志都美薬局 國廣 英一 先生 ・在宅での皮下注射の実際 演者 ちゅうわ往診クリニック 河田 安浩 先生 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域連携クリティカルパスの運用の促進 →乳がん、(がん以外では脳卒中) ○ 口腔外科症例に対し、周術期サポートを実施継続
令和4年度 予定	<p>〈来年度予定〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緩和ケアと分科会と共同で研修会を実施 ○ 地域連携クリティカルパスの運用の促進 →乳がん、(がん以外では脳卒中) ○ 口腔外科症例に対し、周術期サポートを実施継続

地域連携分科会アンケートまとめ

施設名	奈良医大	県総合	市奈良	近大奈良	天理よろづ	南奈良	国保中央	済生会中和	大和高田
2020年度「診療報酬連携パス」運用数	150	0	0	21	0	0	0	25	0
2021年度「診療報酬連携パス」運用数	112	0	0	62	0	0	1	27	0
2020年度「情報提供等連携パス」運用数	105	0	0	3	0	0	0	0	0
2021年度「情報提供等連携パス」運用数	76	0	0	0	0	0	0	0	0
連携パスを運用するにあたっての問題点	・医師の協力が得られにくい ・医師以外の医療職の協力が得られにくい ・手間が多い	・現在の治療に応じたパスが見当たらない ・医師への周知ができていない	・医師の協力が得られにくい ・医師以外の医療職の協力が得られにくい ・手間が多い	・手間が多い	・手間が多い	・医師の協力が得られにくい ・手間が多い ・連携先がない	・手間が多い ・メリットが少ない	・問題なく運用出来ています	・手間が多い
2020年度の多職種カンファレンス※の実績数	310	263	470	1,373	3	10	14	57	48
2021年度1月末までの多職種カンファレンス※の実績数	112	243	400	1,129	5	8	17	67	40
院内の多職種カンファレンス開催形態	対面とオンラインと混合	対面	対面	対面	対面とオンラインと混合	対面	対面	対面	対面
院外との多職種カンファレンス開催形態	対面とオンラインと混合	オンライン	対面とオンラインと混合	対面とオンラインと混合	対面とオンラインと混合	対面とオンラインと混合	対面	対面とオンラインと混合	対面
多職種カンファレンスを実施する際の工夫	感染予防対策 ファシリテーターの役割を意識して実施	安心して参加者全員が意見を言えるよう、ファシリテートしている	事前の調整を十分に行う。 タイムリーに計画実行（患者自身持てる時間が少ないケースも多いため）	-	-	-	出来るだけ参加いただけるよう、希望日の候補を出していただき、併せられるよう調整している	カンファレンス会場の環境に応じた感染対策を実施しています。	定期的に開催
がん診療関係受けた影響	・外来制限 ・入院制限 ・検査制限 ・転院調整	・外来制限 ・入院制限 ・検査制限	・入院制限	・入院制限	・入院制限	・外来制限 ・入院制限 ・検査制限 ・手術制限	・外来制限 ・入院制限 ・検査制限	・入院制限	・入院制限
終末期の患者の面会制限の有無	有	有	有	有	有	無	有	有	有
主な制限内容	・時間 ・人数 ・その他	・基本はオンライン。看取り時は限定的に面会対応	・時間 ・人数	・時間 ・人数	・人数	-	・時間 ・人数	・時間 ・人数	・時間 ・人数

※多職種カンファレンスは、がん疾患に関するもので、院内スタッフのみ、及び院外のスタッフ（地域診療施設、訪問看護ステーション等）も参加する全てのカンファレンスを含む。ただし、施設によって定義が多少異なっていたので、今後は統一予定です。

※天理よろづ「地域の医療機関や在宅診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援の在り方について情報を共有し、役割分担や支援等について議論した件数」を入力しています。退院前カンファレンスは含まれていません。

令和3年度 第2回 奈良県がん診療連携協議会 放射線療法分科会（メール会議）

2022年3月28日

奈良県がん診療連携協議会 放射線療法分科会 委員の皆様

COVID-19の終息が見えずに既に2年以上経過し、本県でも、一部の医療機関では通常診療への影響を無視できなくなっているようです。放射線治療等のがん診療への影響はまだそれほど大きな問題にはなっていませんが、影響が皆無と言える状況でもないようです。

この2年間のCOVID-19の放射線療法への影響等について、放射線療法分科会メール会議を開催して、情報共有をはかり、適宜、協力して課題を解決できれば考えていますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

COVID-19前の状況と比較して、各施設の最近（1年間）の状況、その他について、添付の記入用エクセルファイルに、適宜記入して、全員へ返信でご回答いただけると幸いです。（参考用に前回の概要をまとめたファイルもお送りしますので、確認、修正等お願ひできればと存じます。記入用のファイルに、上書きしていただければと存じます。）

その他にもご意見等ありましたらお知らせ下さい。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

以上、よろしくお願ひいたします。なお、個人情報の取扱いには十分ご留意下さい。

奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科
長谷川正俊

奈良県がん診療連携協議会 放射線療法分科会(令和3年度第2回: 2022/3/28)

2022/3/28現在 概要集計(取り扱い注意)

病院名	奈良県立医科大学附属病院	奈良県総合医療センター	天理よろづ相談所病院	近畿大学奈良病院	市立奈良病院	高田市立病院	済生会中和病院	高井病院
診療科名	放射線治療科	放射線治療科	放射線治療科	放射線科	放射線科	放射線治療科	放射線科	放射線科 放射線科 脳神経外科
部門責任者または連絡担当の分科会委員	長谷川正俊	堀川典子	高山賢二	岡嶋 馨	森本陽子	横川正樹	浅川勇雄(非)	井上和也 長友 康
がん拠点病院等	都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	奈良県がん診療連携支援病院	奈良県がん診療連携支援病院	
<放射線治療のCOVID-19対応等>								
がん患者等の受け入れ体制(病院レベル)	がん診療は原則的に制限しないが、病床制限等の間接的な影響あり	がん診療に制限はありませんが、入院はかなり制限されていて外来通院枠が満杯		原則的になし(院内の感染者発生により、一時的に受け入れ停止する病棟がある)	がん診療の制限なし	がん診療の制限なし	今のところ制限はありません	呼吸器内科が新患受入中止中
がん患者数の増減	減少	治療患者は微増		減少	同様	変化なし	不明	変化なし
放射線治療患者の受け入れ体制(治療室レベル)	特に変化なし	特に変化なし		特に変化なし	特に変化なし	特に変化なし	特に変化なし	特に変化なし
放射線治療の他院への依頼	なし	なし		なし	なし	なし	なし	なし
放射線治療実施関連の体制・対応	技師班分け、他	常識的な対応		ワクチン接種日に関する取決めあり	常識的な対応	常識的な対応	常識的な対応	常識的な対応
放射線治療方法の変更(短期照射の導入等)	特になし	特になし		なし	特になし	特になし	特になし	特になし
COVID-19感染者・濃厚接触者の治療体制	PPE対応で可能	原則治療休止しています。		対応可能	PPE対応で可能	PPE対応で可能	PPE対応で可能	PPE対応で可能
COVID-19感染・疑似・濃厚接触等の治療の有無	あり	なし		あり。	なし	なし	あり(濃厚接触者)	なし
放射線治療患者数(年間総数)の増減	2019年に比して、2020年は減少。2021年は2020年と同様~微増。	やや増加		2021年は2019年より15%減(こ半年はよこばい)	同様	同様	増加	同様
その他	2020年はがん患者数、手術数が有意に減少したが、放射線治療数は約5%の減少にとどまった。ドライブスルーPCR、ワクチン接種等にしばしば当科医師も派遣している。	2022年4月1日~近畿大学奈良分科会から常勤として福田浩平先生にお越しいただく。		IMRT率が上昇傾向。コロナが理由ではないが、乳腺の短期照射が増加中。前立腺、骨転移も短期を検討中。	院内クラスター発生により一部病棟での入院停止時期がありました。放射線治療への影響はありませんでした。	接触者外来など一部担当。治療予定患者の感染はありましたが開始日延期で対応しました。	2019年 75人 2020年 107人 2021年 120人と最近では増加傾向でしたが、今年に入ってから少し少な目です。	治療部門でもクラスター発生を経験しましたが、何とか放射線治療を継続することが出来ました。
<放射線治療機器等>								
リニアック(台数)	3	2	2	1	1	1	1	1
ガンマナイフ(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
陽子線治療装置(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
高線量率小線源治療装置(1r等)(台数)	1	0	1	0	0	0	0	0
前立腺癌コード永久刺入装置(台数)	1	0	0	0	0	0	0	0
他(台数)	1	0	0	0	0	0	0	0
<放射線治療医等>								
常勤放射線治療担当医数	6	3(4月~)		3	1	2	0	4
常勤放射線治療専門医数	5	2		2	1	2	0	3
非常勤放射線治療担当医数	1	1		1	1	0	2	1
他								
<その他>								
	2022/4/1~部門責任者が浅川勇雄に変更となります。							